

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270400821		
法人名	株式会社 武上		
事業所名	グループホーム ノーマライ心の花御成		
所在地	千葉県若葉区下田町1263-56		
自己評価作成日	令和4年2月28日	評価結果市町村受理日	令和4年7月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	令和4年3月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の理念である『明るく楽しく笑顔で共に暮らす そして人として心の花を咲かそう』を、スタッフ一人一人が理解し体現に努め、入居者様に対する日々のケアに従事している。入居者様の笑顔を引き出す事は基より、事業所名にもなっている『ノーマライゼーション』の由来のように、障害の有無に関わらず入居者様お一人お一人のペースに合わせ、入居者様に寄り添いながら、これまでの生活を出来る限り継続していけるよう日々のケアを提供している。家庭的な雰囲気と食を重んじ入居者様とスタッフの顔なじみの環境を大切に、その方々の認知症症状に合わせ柔軟に、想いに寄り添うケアを心掛けている。事業所を開設し約17年が経過し、ご本人・ご家族様の希望に合わせ看取り対応も行っており、自然な最期を迎えられている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく楽しく笑顔で共に暮らす」の理念を職員が日々実践し、入居者様と職員が共に笑顔で過ごせるような介護の実現に努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在はコロナ禍なので地域とのつながりが少ないが、以前は地域の夏祭りや催しに積極的に関わり、地域の一員である事を意識出来ていた。今後も地域とのつながりを意識し交流を図れるように関わっていく。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	インスタグラムを活用し事業所内でのどのような介護をしているのか日々情報発信している。地域包括支援センターとも情報共有しながら地域の人々に当事業所について知って頂けるようにしていく。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、民生委員、自治会長、地域包括支援センターの方々から色々な御意見、御要望を頂く事により日々のケアに活かしている。今後の事業所の運営にも活かせるよう会議などで話し合いを行っている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所内のケアについて行政担当者と地域包括支援センターの担当者と情報共有や意見交換を行い、協力関係を築くようにしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内では身体拘束についての研修なども行い、身体拘束について理解する事で職員がお互いに注意し合えるような環境作りを行っている。身体拘束をしない為のケアについて発信を続ける事で質の高いケアを目指すようにしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修を行い十分に理解した上で事業所内でも話し合い、検討している。虐待が起こらない環境を作ると共に言葉遣いにも気を付け入居者様を敬うように心掛けている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	その方に合ったケアをする為、管理者と計画作成担当者が制度や支援事業について理解し、話し合いを行い御家族様とも連携して情報共有に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には納得されるまで十分な説明をし、御家族様の不安の解消に努めている。また御家族様からの疑問にもその都度説明をし、御理解して頂けるようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様とはSNSなどでの情報のやり取りを行いながら、御意見や御要望をお伺いし、真摯に受け止め運営に反映させるようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案については幹部会議で話し合い、事業所を良くするために現場の声をどう活かせるか考えすぐ反映させるようにし、うまくいかないことがあれば積極的に意見を聞き、働きやすい環境作りに努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者や管理者は職員が働きやすい環境を作るために話し合いをし、キャリアアップや昇給、労働時間についても都度検討し意欲的に働くための手助けをしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員各々に合わせた教育を行い、介護未経験者も中途採用者もそれぞれが意欲を持って現場で学び、成長できるようにしている。また離職者を少なくするために管理者が率先して職員と話し合いを行い意見等を拾い上げるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で同業者との交流が難しいが、研修などを通じて他社とのつながりを作り事業所の運営に活かされるように努めている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入前より、御本人様からの声を大事にし、耳を傾ける事で課題を見つけ、信頼関係を構築できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様も施設入所について不安が多いと思われるので、丁寧にお話を聞き、御入居者様が何を望んでいるのかをきちんと把握した上で、安心して入居していただけるよう信頼関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方に合わせたサービスの提供を心掛け、同業者と連携をとっていき事で最適なケアを提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御本人様の残っている能力を活かし、日々の洗濯物たたみなどや、体操、レク、個々の趣味に花を咲かせ、時に教えていただいたりと共に支えあう関係を築くように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様とはSNSを利用し御意見を頂戴している。面会時には御入居者様の近況や課題などについてお伝えし御家族様にも安心して頂けるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で面会が難しくなっているが、関係が途切れないようSNSで情報を発信している。御家族様や御友人等に御本人の様子が伝わるよう、ビデオ通話などを活用するなど職員が間に入り支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内で日々、洗濯物たたみやレクを行うしながら、御入居者様同士で会話しやすいよう職員が間に入り関係の構築に努め、御入居者様が孤立しないようにしている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も御入居者様にとってより良い形で次のサービスにつなげるため御家族様からの相談や支援を継続している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人様や御家族様の御意向に沿えるよう情報収集を行い、職員一同で話し合いを行いながら、より御満足頂けるケアが出来るように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御入居者様のこれまでの生活歴などをアンケートやアセスメントから把握し、日々のケアに活かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方は御入居者様それぞれ違うので、御入居者様お一人お一人の過ごし方や残存能力をミニ会議で職員と打ち合わせながら現状の把握に努めるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々介護記録で御入居者様の情報をまとめ、毎日ミニ会議を開き、職員と意見交換や情報共有に努め介護計画に役立てている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やヒヤリハット、ミニ会議で御入居者様の情報を吸い上げ、検証していくことで介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所の枠にとらわれず様々なサービスとも連携しながら御入居者様、御家族様にも安心して頂けるように努めている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍以前は地域の夏祭りや自治会の集まりに参加していたが、現在は参加できていない。またコロナが治まった後に参加が出来るように支援していく。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族様と入居前から話し合いをし、かかりつけ医を継続するか、事業所のかかりつけ医に変更するか相談し、御家族様の御希望に沿うようにしている。どちらを選択しても適切な医療を受けられるよう支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の様子で何か変わった事があつたら看護職員に相談し情報交換を行っている。適切な処置や受診をスムーズに行えるようしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御入居者様が入院された時は早期に退院できるよう病院関係者との情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には御本人様や御家族様と話し合いをし、看取りを望まれる場合は、なるべく自然な形で最期を迎えられるようなケアを行っている。また事業所での研修も行い、職員も知識と経験を積み、対応が出来るよう教育を施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応、事故発生時は書面での確認も行い、管理者が職員に対応の仕方を教えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い、日中、夜間帯を想定して御入居者様を災害から守るための訓練を行っている。速やかに避難できるよう避難経路の確認を行っている。今はコロナ禍なので地域住民に参加して頂く事が難しいが、地域との連携もとりながら協力体制を築くよう努力をする。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である御入居者様に対しては常に敬語を心掛け、集団生活でのプライバシーの保護、差恥心への配慮をし御一人御一人のペースに配慮したケアを実践するようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人様の声に耳を傾け、どういった生活を希望されるのか考えながら、ご希望に沿えるよう環境の整備を行い、個々にあった暮らしを提供する事に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に業務ではなく入居者様を第一に優先し、お一人お一人のペースに合わせてその人らしさを尊重した暮らしが出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみに気を使い、御本人の希望、意思の確認を聞きながらお化粧やおしゃれが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	御食事が楽しめるよう御入居者様にあった提供の仕方を心掛けている。食事を召し上がる前からおしぼりたたみやテーブル拭きをして頂き、席の配置にも配慮し皆様でテーブルを囲みながら食事を楽しむ雰囲気作りを大事にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事・水分量はタブレットに入力し、何かあればすぐに看護職員にも相談し状態の把握に努めている。好き嫌いなどに配慮しながらその方が召し上がりやすいように食事の提供の仕方を工夫するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをして口腔内の汚れの除去をし、出来ないところは介助をして御本人様の有する能力を使いながら支援をするようにしている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	御入居者様の排泄のパターンの把握をし時間帯によってトイレへの誘導を行っている。トイレでは排泄がスムーズに出来るよう一人一人の力を使った支援を行うようにしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく自然排便が出来るよう食事・水分量を把握し、日々の運動を心掛け、御本人様が気持ちよく排泄できるよう配慮している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	気持ちよく入浴して頂けるために個々の入浴の時間やタイミング、室温調整、お湯の温度に配慮し、入浴を楽しめるように支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の生活習慣を把握し、夜間ゆっくり休まれるよう日中は離床し活動を促している。また寝具を定期的に洗濯し衛生面に気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の重要性について十分に把握し、看護職員、往診医と連携を取り、その方の状態に合わせた服薬支援を行っている。また誤薬をしないよう職員同士声だし確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で楽しみを見つけ、趣味がある方は存分にその能力を活かし、各々が楽しめる場を作る為の環境を整えている。日中はレクを行い御入居者様とのコミュニケーションの機会を増やしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍でなかなか外に出かけられていないが、散歩に出かけることにより気分を盛り上げ、リフレッシュ出来るように努めている。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍で外出する事が減っているが、以前は御入居者様と散歩へ出かけ一緒に買い物をする支援も行ってた。これからも買い物を通して楽しみの仕方も行っていけるように努めていく。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様との手紙やテレビ電話、電話でのやり取りを支援しながら御家族様との交流が途絶えないように配慮をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地が良い空間作りを心掛け、職員も環境の一部という事を踏まえたケアの提供を心掛けている。居心地の良い場所を作る為に常に職員同士考えながら環境整備に取り組んでいる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれ気の合った御入居者様同士で同じテーブルにすることでゆっくりと過ごされる場を作るようにしている。その時に合わせて席の移動もしその方のペースに合わせた環境を作る事に努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人様の馴染みの家具や寝具、持ち物を置いて住環境の整備をし今まで暮らしていた家と同じような雰囲気を作り安心して頂けるように配慮をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御入居者様が安心して頂けるような環境作りを行い、テーブルやイスの配置、入居者様の動線の把握をしている。御入居者様の能力を使い自立した生活が送れるように介助をしている。		

【評価機関】